

2020 年度 新型コロナウイルス対応実績

新型コロナウイルス感染症の広域拡大に伴い、2020年2月7日に大学学長を本部長とする緊急対策本部を設置し、感染拡大の防止に向けて情報を集約すると共に、事態の状況変化を見極めながら学内外に対する情報発信と各種施策を講じた。

1. 主な行事と授業

主な行事として2019年度学位記授与式、2020年度全員参加の入学式中止をはじめ、各種イベント、セミナー、説明会を中止、延期あるいはオンライン化し、2020年春季学期の授業はオンライン授業を含め5月25日から開始した。秋学期には感染防止環境を充実させて、対面授業を増やしオンライン授業と半々とした。また、来期以降のウイズコロナの状況を見越して、全教室に授業状況をビデオ撮影し同時配信する「MeetUp」を設置し、学生が対面授業とオンライン授業を選択できる環境整備を行った。

2. 留学

- (1) 海外協定校派遣中の学生276人全員を途中帰国させ、受入海外留学生320人にも帰国を促し、内194人が途中帰国した。授業はオンラインに切り替え、留学生は国内外から受講した。
- (2) 留学生別科の授業を協定校学生向けにオンラインで開講。2020年度は28カ国・約700人の海外留学生が日本語や専門科目の授業を受講。また、本学からの派遣生については約170人が海外協定校へオンライン留学した。
- (3) 海外協定校のネットワークを活用した国際交流の新たな取り組み「Global Act Initiative(GAI)」の一環として、本学学生と海外協定校の学生が、ZoomやRemo等を使って、協働でイベントの企画・運営を行う国際交流プログラム「Intercultural Engagement Program (IEP)」を立ち上げ、テーマ別に7つのチームを展開。2020年度は135のイベントを開催し、延べ約2,000人が参加した。
- (4) 海外協定校55カ国・地域/393大学(2021年3月末現在)との協定を活用した取り組みを強化すべく、海外協定校が主催するオンライン授業や各種プログラムに本学学生が参加する機会を提供した。2020年度は14件のプログラムで学生募集があり、教職員間でも協定重点校とのワークショップを通じて情報交換を実施した。
- (5) 留学生受入「Asian Studies Program(ASP)」のプロモーション資料やホームページにコロナ禍対応情報を追加し、海外協定校に対しASPの最新情報を周知すると共に、海外協定校のStudy Abroad Fairに積極的に参加し、本学PR動画も配信した。

3. 学生フォロー

- (1) 学生に広がる不安を拭い去り力強く励まそうと、本学公式サイトで、5月11日から「ともに乗り越えよう」プロジェクトを開始し、谷本榮子理事長、大庭幸男大学学長はじめ教職員、卒業生、在学生ら約40人が応援メッセージを動画で届けた。
- (2) 短期大学部の新入生を対象に「出会いのキャンパス」を7月4日、11日、18日の3回に分けて中宮キャンパスで開催し、431人が参加した。
- (3) 英語国際学部の新入生を対象に「Go To Gotenyama Campus」を10月30日に御殿山キャンパス・グローバルタウンで開催し、約80人が参加した。
- (4) 「外大祭2020」を10月30、31日にオンラインで「Fun!!～For One Team Gaidai～」をテーマに学生が工夫して開催した。
- (5) 就職活動中の学生支援のため、企業79社を招き「学内採用選考会」を開催。延べ556人の学生が参加し、34人が内定を受けた。
- (6) 大学院生指導による授業サポート「Learning Village」を実施し、延べ168人の学生が参加した。
- (7) 「オープンキャンパス」は、対面とWEBで計5回実施。参加者総数は、対面235人、WEB2,546人であった。
- (8) 「2020年度学位記授与式」は2021年3月13、14日の2日に分散して対面で開催した。

4. 環境対策

環境対策としては、各通用門に「体温検査用ドームカメラ」と「非接触型体温計」、各教室に「低濃度オゾン発生装置」、各教室、食堂、図書館、各事務所等に「飛散防止パネル」、「手指消毒用アルコール」を設置し、椅子等はソーシャルディスタンスを保つ配置とした。

また、情報環境整備としては、パソコン貸出(328台)、wifi環境の整備(169基)、ネットワーク回線の大幅増強(0.5GB⇒2.0GB)等を行った。

5. 学生支援金

春学期には本学独自の「オンライン授業受講等のための環境整備支援金」として全学生に一律5万円(計6億円)を支給し、「高等教育就学支援奨学金」も1,473人に8億7千万円を支給した。